

次号課題 「不学殆」

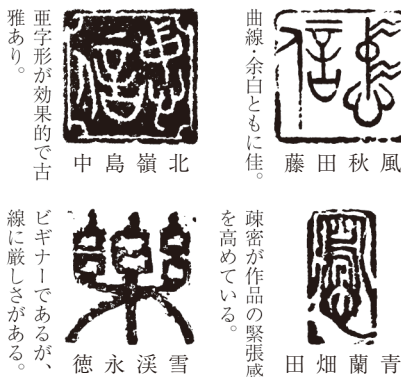
今月の課題は論語の為政編の「子曰 学而不思則罔 思而不学殆」から転借した「不学殆」とする。

訓読は「子曰く 学びて思わざれば則ち罔く 思いて学ばざれば則ち殆し」で、意味は「広く読書して、学問を積み重ねても主体的に思索しなければ、道理を掴むことができず、思索にふけて学問を積み重ねれば、独断に陥り危険なことになる」というような意味か。

参考作品



優秀作品



- 出品資格特に制限なし。
- 印（印影）の大きさは3センチ以内（形は自由。楕円・長方形等も可）。
- 印影を白の半紙1/4に押印し、右側に条幅出品券を貼付。
- 課題文字以外の随意作品も出品可。消しゴム印も可。

硬筆研究

次号課題

金かねの柱霜雪そうせつに朽くちて、既すで頽たいた廢はい空虛くうきょの叢むらと成なるべきを、四面新あらたに囲かこて、薨いらを覆おおいて風雨ふううを凌しのぐ。暫時千歳しばうせんざいの記念かたみとはなれり。
五月雨さみだれの降ふりのこしてや光堂

優秀作品

三代の榮耀一睡の中に、大門の跡は一里、なたに有。秀衡が跡は田野に成て、金鶏山の形を残す。先高館にのぼれば北上川南部より流る、大河也。

西尾 珂峰

三代の榮耀一睡の中に、大門の跡は一里、なたに有。秀衡が跡は田野に成て、金鶏山の形を残す。先高館にのぼれば北上川南部より流る、大河也。

伊井 翠風

三代の榮耀一睡の中に、大門の跡は一里、なたに有。秀衡が跡は田野に成て、金鶏山の形を残す。先高館にのぼれば北上川南部より流る、大河也。

横田 早紀

三代の榮耀一睡の中に、大門の跡は一里、なたに有。秀衡が跡は田野に成て、金鶏山の形を残す。先高館にのぼれば北上川南部より流る、大河也。

今井 清翠

三代の榮耀一睡の中に、大門の跡は一里、なたに有。秀衡が跡は田野に成て、金鶏山の形を残す。先高館にのぼれば北上川南部より流る、大河也。

蜷 川 麗 耀

三代の榮耀一睡の中に、大門の跡は一里、なたに有。秀衡が跡は田野に成て、金鶏山の形を残す。先高館にのぼれば北上川南部より流る、大河也。

石川 雄 雲

三代の榮耀一睡の中に、大門の跡は一里、なたに有。秀衡が跡は田野に成て、金鶏山の形を残す。先高館にのぼれば北上川南部より流る、大河也。

木村 由美子

三代の榮耀一睡の中に、大門の跡は一里、なたに有。秀衡が跡は田野に成て、金鶏山の形を残す。先高館にのぼれば北上川南部より流る、大河也。

段位・氏名

※用紙は検定試験の（ロ）の使用も可。



※予告（九月号）は45ページに掲載